

第04回

- 講演者：長澤 壯之 氏（埼玉大学大学院理工学研究科）
 - 題目：メビウス・エネルギーの特異性除去と変分公式の絶対可積分性
 - 日時：平成24年6月29日（金）16：30～17：30

メビウス・エネルギーは、結び目のエネルギーとして1991年に提唱されたもので、結び目が自己交叉を起こすと、エネルギーが発散するように定義されている。すなわち、エネルギー密度に特異性を有する。自己交叉を起こさなくても見掛け上特異性を有しており、そのため、エネルギーは密度の主値積分で表される。絶対可積分性が保障されないため、種々の計算が面倒であった。例えば、変分公式も主値積分による表現になる。ここでは、自己交叉以外に起因する特異性が除去できる事を示し、それを基に第一変分 第二変分公式の絶対可積分性を導く。石関 彩（埼玉大学）との共同研究。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

43 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2012/004>

Last update: **2017/11/16 23:36**

